

政府 昭和100年記念式典を開催

吉村会長が参列



会場の様子

本年、節目となる「昭和100年」を記念し、全国各界の代表者が一堂に会する政府主催の記念式典が、日本武道館にて令和8年4月29日に開催されました。自家発電業界からは吉村内発協会長が参列し、昭和期に築かれた産業基盤や技術革新の歩みが振り返られる中、次代へ継承すべき価値と使命が改めて示されました。

吉村会長は、昭和期に当協会が果たしてきた社会的役割、そしてそれを支えてこられた当協会の会員の皆様や役職員一人ひとりの努力に思いを寄せつつ、今後も「安全・信頼・技術力」を軸に日本の内燃力発電設備を支える協会として、社会貢献を果たしていく決意を新たにしました。当協会の50年の歩みと存在意義を、昭和100年の大きな節目と重ね合わせて再確認するとともに、次の100年に向けて内発協の責任と期待を強く感じる機会となりました。